

パニック値報告所要時間

2022 年度 臨床検査部 パニック値報告所要時間

目標報告時間	パニック値発見から報告までの時間が30分以内							
達成目標	パニック値発見から報告までの所要時間を30分以内達成率80%							
	血液検査室		生化学検査室		一般臨床検査室		微生物検査室	
	達成率 (%)	平均報告時間 (分)	達成率 (%)	平均報告時間 (分)	達成率 (%)	平均報告時間 (分)	達成率 (%)	平均報告時間 (分)
4月	100%	7	100%	2			100%	6.5
5月	100%	7	100%	2	100%	10	100%	8.2
6月	100%	7	100%	2	100%	10	100%	8.6
7月	100%	7	100%	2	100%	9	100%	8
8月	99%	7	100%	2	100%	10	100%	12.5
9月	100%	7	100%	2	100%	16	100%	11.8
10月	100%	7	100%	1	100%	6	100%	6
11月	100%	7	100%	1	100%	9	95%	10.9
12月	100%	6	100%	2	100%	10	94%	21.9
1月	100%	6	100%	6	100%	5	90%	14.9
2月	97%	7	100%	1	100%	5	67%	21.7
3月	100%	6	100%	2			100%	12.2

	心電図検査室		肺機能/脳波検査室		超音波検査室	
	達成率 (%)	平均報告時間 (分)	達成率 (%)	平均報告時間 (分)	達成率 (%)	平均報告時間 (分)
4月	95%	12	100%	5.0	100%	6.75
5月	100%	9	100%	6.0		
6月	100%	13	100%	5.0	100%	9.5
7月	100%	14	100%	7.0	100%	5.5
8月	90%	9	100%	9.0		
9月	94%	11	100%	10.0		
10月	100%	11.2	100%	10.0	100%	12.5
11月	82%	15.7	100%	5.0	100%	9.7
12月	100%	13.4	100%	9.0	100%	15
1月	100%	8.8	100%	12.0	100%	8.7
2月	100%	10.4	100%	5.0	100%	5%
3月	92%	13.8	100%	7.0	100%	3.5

パニック値 (panic value) は「生命が危ぶまれるほど危険な状態にあることを示唆する異常値で直ちに治療を開始すれば救命しうる可能性がある」とされる。そのため、臨床検査部ではパニック値を設定し、発見時は直ちに臨床へ報告する体制を整えている。2022 年度のパニック値発見から報告までの 30 分以内達成率は、ほぼ 100%であり目標は達成できている。また 2022 年度は、IPSG 2 の QI であるパニック値報告の運用見直しに伴い、臨床医を交えたワーキンググループが発足し、臨床のニーズに準じた無駄のないパニック値報告をシステム化するために活動を開始している。

データ提供 臨床検査部